

# 院内トリアージ実施基準

2025/12/8 第1版

当クリニックにおいて、来院された患者様の症状や重症度を事前に評価し、緊急性の高い患者様が適切な診察や治療を受けられるように、下記の要領で院内トリアージを実施致します。

算定対象時間は、平日18時以降、土曜12時以降、日曜祝祭日終日と致します。

## 院内トリアージの流れ

- 1) 来院後、受付時に症状や受診理由を確認します。
- 2) 看護師や医師が患者様のバイタル等、全身状態の確認を行います。
- 3) 下記のトリアージ分類表に基づいて緊急性を判定します。トリアージは待ち時間に応じて再評価致します。

## トリアージ分類表 (JTASに準拠)

緊急度判定レベル	症状の特徴や具体例	再評価の目安
蘇生(レベル1)	生命が危ぶまれ、直ちに対応が必要な状態。 持続しているけいれん、高度な意識障害や呼吸障害、ショック、重症外傷 等	治療の継続
緊急(レベル2)	生命または四肢・臓器が危篤状態に陥る危険性が高く、早急に初期対応が必要な状態。中等度の呼吸障害 (SpO2 < 92%) や意識障害、重度の脱水症、激しい頭痛や腹痛 等	15分ごと
準緊急(レベル3)	比較的安定しているが、長時間待つことが出来ない状態。 頓挫したけいれん (意識清明)、SpO2 92-94%、変形のある四肢外傷、発熱 (具合が悪そう) 等	30分ごと
低緊急(レベル4)	緊急性が低く、診察までに1~2時間程度待てる状態。 軽度の喘息 (SpO2 > 94%)、発熱 (具合が良さそう)、縫合が必要な外傷 (止血済み) 等	1時間ごと
非緊急(レベル5)	緊急性や病態の増悪は考えられず、診察まで長時間待てる状態。 包帯交換、縫合の必要のない傷、処方の継続希望 等	2時間ごと

## 来院後の主な流れ

「来院」⇒「受付」⇒緊急度判定(院内トリアージ)⇒診察待機⇒診察・処置等⇒帰宅・他病院へ紹介・入院依頼  
※発熱等の症状で来院された場合は、院内トリアージの際に感染症の迅速検査を行わせていただくことがあります。  
※院内トリアージの実施基準は、必要に応じて随時改定・更新致します。



TAKEZONO FAMILY CLINIC  
CLINIC OF FAMILY MEDICINE